

ダイセーロジスティクス「一宮ハブセンター」5/1稼働開始

～ 2024年問題で高需要の中京エリアに初進出！～

ダイセーロジスティクス株式会社（本社：東京都文京区、代表取締役社長 田浦辰也）は、2024年5月1日より一宮センター（愛知県一宮市）の稼働を開始いたします。物流の2024年問題により関東と西日本を繋ぐ中継拠点としての需要が高まっている中京エリアで、マザーデポ機能を兼ね備えた菓子共配センターを開設しました。

<センター概要>

■ 住所

愛知県一宮市萩原町林野字鷲宮8-1 T-LOGI一宮4F

■ アクセス

東海北陸自動車道「一宮稲沢北IC」から約0.2km

「一宮西IC」から約3.3km

名古屋高速16号一宮線「一宮東IC」から約5.3km

■ スペース

約1,678坪 ※バース込み

（ドライ1,198坪、定温480坪）別途事務所 63坪

■ センター機能

DC型・TC型

■ 共配エリア

自社：愛知県、三重県、岐阜県

委託：石川県、富山県、福井県（予定）

■ 稼働開始

2024年5月1日～

■ 特徴

お菓子の配送に特化／倉庫内に約480坪の定温スペースあり／配送に定温車を使用することで夏場でも温度管理・品質管理が可能



ダイセーロジスティクスは関東を中心に拠点を展開しており、西日本では大阪と沖縄に拠点があります。今回スタートする一宮ハブセンターは、2023年10月に竣工した東京建物のマルチテナント型物流施設「T-LOGI一宮」の一角、約1,678坪を使用しており、小牧エリアと名古屋都心部にアクセスのよい好立地です。ドライバーの労働時間規制により関東から西日本への配送は中継輸送が増え、関東と関西を繋ぐ中継拠点の需要が高まっているため、今回ダイセーロジスティクスとして初めて中京エリアにセンターを開設しました。

全国から中京エリアへ配送するお菓子の共配をメインに、十分な保管スペースを活用することでマザーデポ機能を兼ね備えた使い勝手の良い物流拠点となっています。倉庫内には約480坪の定温スペースがあり、夏場でもチョコレートやグミといった温度管理・品質管理が可能です。今後隣接する株式会社ライフサポート・エガワとの協業も予定しており、お客様のコスト削減・物流効率化を実現いたします。

<ダイセーグループについて>

今年55周年を迎えるダイセーグループは44社で構成され、貨物自動車運送・倉庫事業を中心に自動車整備事業・中古自動車販売事業から、電気工事業業、リサイクル事業、インターネット事業や食品事業まで幅広く事業を展開しています。

< 本件に関する報道関係者からのお問合せ先 >

ダイセーホールディングス(株)

担当：広報チーム 齋藤／浅見

TEL：03-5212-8988 FAX：03-5212-8989 E-mail：m_saito@daiseihd.co.jp